

【2017 年度】

■国内学会：

- 1 遠藤敦士：底屈制限装具と踵補高付き底屈制限装具が過伸展膝を呈する脳卒中患者の歩行時間調節運動と筋活動に及ぼす影響。第 36 回東京都理学療法士学会(東京)。2017.6
- 2 廣瀬梢：生活行為向上マネジメントを使用し環境因子の問題点に対し気付きが生まれ、主体的な生活行為に繋がった事例。第 10 回日本訪問リハビリテーション協会学術大会(札幌)。2017.6
- 3 星達也：長期的なバルーン拡張法によって流動的な嚥下から咽頭収縮を伴った嚥下を獲得した wallenberg 症候群の一例。第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会(千葉)。2017.9
- 4 西村友花：経管切開術後経管栄養患者の退院時経口摂取可否の傾向と関連因子の検討。第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会(千葉)。2017.9
- 5 鈴木弥奈：回復期病院における parkinson 病を合併した経鼻経管栄養患者の病態と転帰。第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会(千葉)。2017.9
- 6 日暮結：脳血管障害による摂食嚥下障害の経口摂取への移行-V F 導入前後の比較検討-I。第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会(千葉)。2017.9
- 7 三橋陽平：脳血管障害患者の短下肢装具着脱自立要因の検討-座位下肢荷重率、座位前方リーチテスト、Trunk control test を用いて-。リハビリテーション・ケア合同研究大会 2017(茨城)。2017.10
- 8 福岡宏之：70 歳代の回復期脳卒中患者における F I M に影響する因子の検討。リハビリテーション・ケア合同研究大会 2017(茨城)。2017.10
- 9 長原亜希：当院における長下肢装具使用の脳卒中片麻痺患者の歩行と ADL の帰結に関する因子～入院時 ADL に着目して～。第 1 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会(大阪)。2017.10
- 10 末永達也：回復期脳卒中片麻痺へのベルト電極式骨格筋電気刺激療法による ADL 及び筋力効果への影響。回復期リハビリテーション病棟協会第 31 回研究大会 in 岩手。2018.2
- 11 内藤進太郎：回復期リハビリ退院後の時期に応じた訪問リハビリでの ADL 変化の特徴。回復期リハビリテーション病棟協会第 31 回研究大会 in 岩手。2018.2
- 12 畠美里：回復期リハビリテーション病院脳血管障害患者における再入院の関連因子～ロジスチック回帰分析による FIM 細項目の検討～。回復期リハビリテーション病棟協会第 31 回研究大会 in 岩手。2018.2

- 13 平井徳子：重度片麻痺で回復期に入院した髄膜脳炎・硬膜下膿瘍の歩行自立となった症例～発症から回復期入院が遅延し長期フォローアップを行なった例～。
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手。2018.2
- 14 石野浩：回復期脳卒中後の摂食嚥下障害と高次脳・認知機能障害。
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手。2018.2
- 15 馬橋啓介：回復期脳卒中片麻痺患者の上肢へのIVESの効果～4症例のSTEF・AOUの検討から～。
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手。2018.2
- 16 町田将人：顎関節脱臼による嚥下困難患者が咀嚼筋群の筋バランスと姿勢アライメントの調整によって摂食へ至った症例。
回復期リハビリテーション病棟協会第31回研究大会 in 岩手。2018.2
- 17 宮上光祐：回復期脳血管障害経管栄養例の誤嚥性肺炎の発症要因と転帰。
第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会(千葉)。2017.9
- 18 須賀文子：VFを用いた地域包括ケアの試み。
リハビリテーション・ケア合同研究大会2017(茨城)。2017.10

■国際学会：

- 1 澤広太：Effects of Lateral Movement Training with a Tilt Wedge on the Subjective Postural Vertical during sitting. Asia Western Pacific Regional Congress of the World Confederation for Physical Therapy Asian Confederation for Physical Therapy(Thailand)。2017.6
- 2 古田憲一郎：Current status of Occupational Therapy for clients in the recovery period rehabilitation area in Japan. The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium(Taiwan)。2017.10

■単行本：

共著

福岡宏之：クリニカルリーズニングで神経系の理学療法に強くなる！。第2章-6.脳血管障害
回復期3：装具療法① 反張膝が改善しない（セラピスト視点のCR）138-155。羊土社